



人権教育だより 冬休み号

令和5年(2023年)12月22日

鹿本農業高等学校

人権教育主任 野尻 貴輝

～いじめや差別のない学校づくり～

2学期も本日で終わりますが、いかがだったでしょうか。10月の農業クラブ全国大会運営、11月の110周年記念、収穫感謝祭、鹿農祭と行事が多々ありました。人権教育としましては、9月に各学年にて人権LHRを行い、11月に人権講話を行いました。概要と生徒感想(抜粋)を紹介します。

【9月】

1年生・・・「平和教育」動画「海に沈んだ学友たち～沖縄対馬丸～」を視聴し、平和について考えました。

・生き残っても辛いと口にされていた方の顔もつらく悲しかったです。今に感謝して過ごしたいです。

2年生・・・「平和教育」動画「消えた女学校 女子学徒たちの沖縄戦」を視聴し、平和について考えました。

・戦争は人をただ不幸にするだけでなく、終わった後でも嫌な記憶が残るので、こんな思いをしないように次につなげていかないといけないと思いました。

3年生・・・「言わない・書かない・提出しない」取り組み、動画を視聴しながら面接における違反質問などについて、考えました。

・自分を守るだけでなく、「なかま」を守り、自分らが差別に加担しないためだと初めて知ることができました。1つ1つの質問をしっかりと理解しながら解答したいと思いました。

【11月】人権講話「性的マイノリティと人権～LGBTQ+の基礎的理解とこれからの生き方～」

講師 今坂洋志さん(ともに拓くLGBTQ+の会くまもと代表)

性の要素はグラデーションであり、はっきりとはしておらず、性の多様性を認めることの大切さを語られました。生徒たちは皆真剣に聞き、沢山メモをとっていました。

・自分は無意識のうちに二つの性だけで考えていました。講話を聞き、多様な性があることを考えたいです。

・自分も言葉遣いを気をつけていきたい。相手のことを思いやって行動していきたい。

・沢山の方が理解して全ての方が自分の性をほこりに思っ生きてられる世の中になってほしいと思いました。

人権コラム「やまが人権フェスティバルに参加して」

12月3日、山鹿市民交流センターにて、やまが人権フェスティバルが催されました。当日は、市内の各高校生1名が司会を担当し、本校からは、1年生1名が参加しました。開会行事を担当し、堂々と司会を務めました。また「未熟なまま輝く 相手も自分も大切にコミュニケーション」という演題のもと、吉井奈々さんの講演もありました。自分らしく生きることの大切さを話され、自分の心が温くなる講演でした。

緊張したけど、貴重な経験ができて良かったです。講演を聴いて、自分を出すことは良いことだけど、難しいことでもあると思いました。だけど、好かれる勇気と嫌われる勇気を持って、自分を出していけたらいいなと思います。



○「令和5年度(2023年度)人権メッセージ」結果報告

夏休み、全校生徒で募集しました。県民約2000作品の応募の中、本校生徒2名が佳作に選ばれました。おめでとうございます。

1年 Aさん(メッセージ)

2年 Sさん(イラスト)



人権イラスト佳作
「アルメちゃん」
高校生